

UP-03

Fujitsu Experience Day 2026

FUJITSU

因果AIが支える、 確かな事業評価と 説明責任

富士通株式会社

2026年7月

© 2026 Fujitsu Limited

老朽化が深刻化する社会インフラ群

限られた予算と人手、難化する最適配分

多種多様な関係者との合意形成

「現場の調整力」で長年対応してきたが、高齢化や人材流動で知見・ノウハウが失われつつある

**「知見とノウハウ」をAIに継承し、
責任ある透明・公正な事業評価と説明責任を支援**

AIによる「知見・ノウハウ」の継承を阻む3つの壁 uvance

01

深刻な労働力
不足

慢性的に多忙なため、
AI活用に取り組む余裕がない



02

データの
デジタル化不足

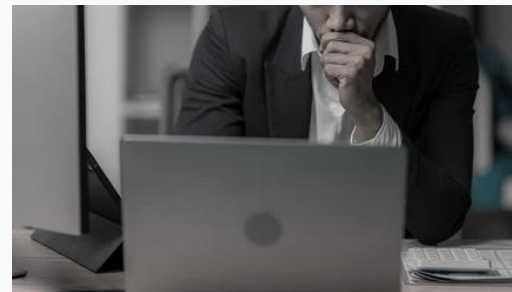
紙やPDFのまま散在し、AI活用に
使える状態になっていない



03

データ活用の
高いハードル

複雑なデータを分析するには、
高度な専門知識が必要となる



現場に寄り添い、負担を下げながらデジタル化を推進。
誰もが扱えるデータで、確かな「事業評価と説明責任」の実現へ

AI適用による 業務の「効率化」から 「高度化」へ

AIによる **日々の業務効率化** が
価値ある **データを蓄積** させ、
たしかな **事業評価・説明責任**へ



「なぜこの区間が優先なのか？」を、因果AIが解き明かす

～これまで見えなかった影響要因を因果AIが可視化する～



人の「経験とノウハウ」に頼らない
客観的な根拠

従来の経験則ではなく、
地域特性や交通データから影響因子を特定

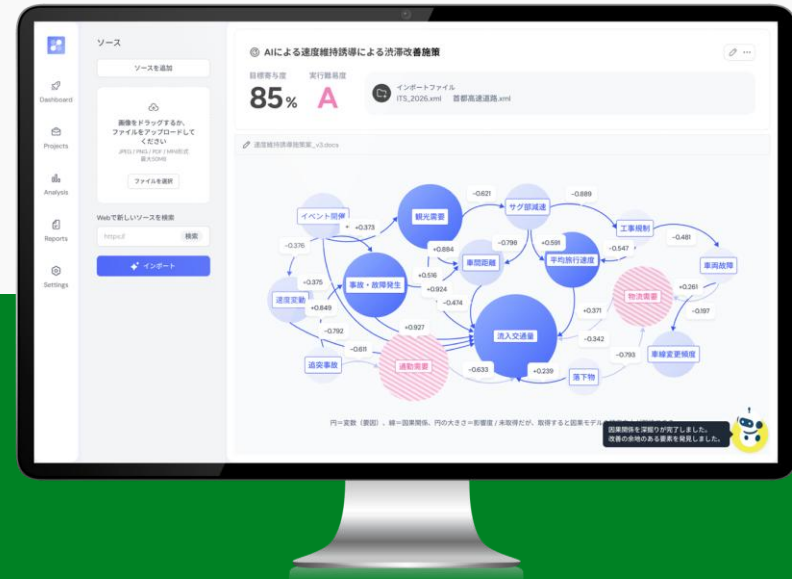


目的別のKPIを、
迷わず「一瞬で理解」できる形へ

AIが知見を蓄積・進化、
より賢く人の判断を支援



AIがナレッジを継承し、人の判断を高度化
他のAIのように結果がブレず、
信頼度を「因果係数」で数値化



効率化を進めるほど、高度な評価と説明を実現



効率化を進めるほど、多角的な計画と評価を実現



どの段階からでも導入可能

業務と政策・経営意思決定の再設計により
AIドリブンな社会システムを実現し、
行政・社会インフラ・民間がつながる
持続可能な未来へと前進させる

本展示・資料に関するお問い合わせ先

富士通株式会社 Fujitsu Experience Day 2026 公共関連ブース事務局
contact-gopub@cs.jp.fujitsu.com

※お問合せいただく際、メール件名か本文に
「展示：因果AIが支える、確かな事業評価と説明責任、に関する問合せ」とご記載ください